

武家文書を読む

史料1 天正二十年（一五九二）徳川家康知行宛行朱印状〔旗本加藤家文書No.1〕

武益岡公

行言音言  
九石走針

并上總國行

東株石、糾半

合錢也、事

右山林川た取一

と知りもやの事

天正年  
二月



賀喜

可有用役新用事

合毛町

御判

右肩自力新役之上

乃奉承主ち汚剥

申上一准下者承

聞候お委令に於候

通量候（新役

主意傍見之の承

件

慶長六年  
伊奈忠次

世卯月十日忠次判

宿田村  
主相付

大柴 14  
御用文書